

和歌山県の森林・林業・木材産業の現状と取組について

和歌山県 農林水産部 森林・林業局



1. 和歌山県の森林・林業・木材産業の現状と課題

和歌山県は紀伊半島の南西側に位置しており、長い海岸線と紀伊山地の高い山々を有し、温暖多雨な気候は木々の成長を促進し、多様で緑豊かな県土を形成しています。

和歌山県の古い国名である「紀の国」は「木の国」が転じたものとも言われており、県庁所在地である和歌山市には、全国に樹木を植えて廻ったと『日本書紀』に記される「五十猛命（いたけるのみこと）」を祀る伊太祁曽（いたきそ）神社があります。

毎年4月の第1日曜日に行われる『木祭り』には、全国から木材関係者が訪れます。

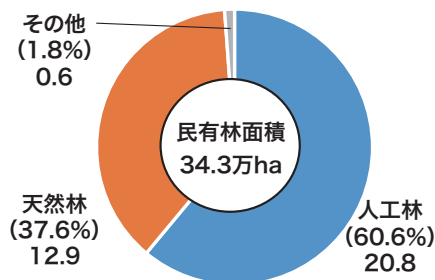
本県の県土面積の約76%は森林が占め、全国平均の67%を上回っており、現在も「木の国」であることを示しています。本県の民

有林の61%は人工林で、蓄積は1億 m^3 を超え、そのうち11歳級以上が8割を占めています。

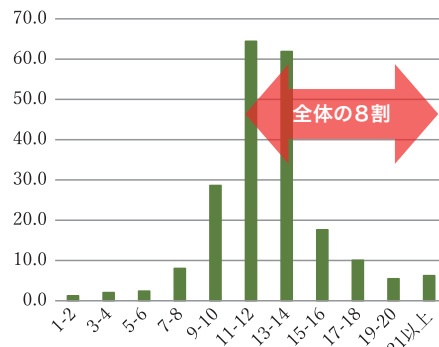
本県の森林資源は本格的な利用が可能な段階を迎えていると言える一方で、資源構成が偏った状況にあり、また、長引く木材価格の低迷から施業意欲が減退し適切な管理がなされていない森林も増加しています。

また、全国共通の悩みだと思いますが、林業就業者の減少が進んでおり、新たな林業担い手の確保と育成も課題となっています。

本県では、様々な施策を展開し、「伐採して、使って、植えて、育てる」という循環型林業を推進して、多様で健全な森林づくりを目指します。



グラフ1 和歌山県の地域森林計画対象私有林面積の内訳



グラフ2 和歌山県の人工林年齢級構成（私有林）

2. 林業のデジタル化に向けた取組

本県では、ICT技術を活用して、県・市町村・林業事業者がそれぞれ保有している森林・林業に関連するさまざまな情報を一元化し、相互に利活用できる「和歌山県森林クラウドシステム」の運用を令和5年8月から開始しました。

本システムは、森林計画図や林地台帳地図、

林道や航空レーザ解析情報など、森林・林業に関する各種空間地理情報やデータベースを搭載しており、検索・閲覧・印刷等の情報利用を行うことができます。

また、伐採届や森林の土地所有者届、森林経営計画の認定、造林補助事業申請などの行政手続きを電子申請することも可能です。

さらに、素材生産者と、原木市場や製材工場といった原木の需要者が、需給情報をリアルタイムで共有することもできるため、原木の効率的な生産や安定供給をサポートする新たな情報ツールの1つとして活用が期待されます。

本システムを適切に運用することで、森林施業の効率化と省力化のほか、川上から川下の連携強化による流通の効率化など、ICT技術を活用したスマート林業の促進による林業・林政のDX化を推進するとともに、森林管理や林業経営活動の省力化や効率化を支援していきます。

本県では、今後、本システムの利用促進に

図1 原木需給情報のマッチングイメージ



向けた操作技術に関する研修会の開催や、利用者からの意見を踏まえた本システムの拡充、搭載情報の整備などに取り組んでまいります。

図2 微地形表現図及び林小班区分図 (画面表示)

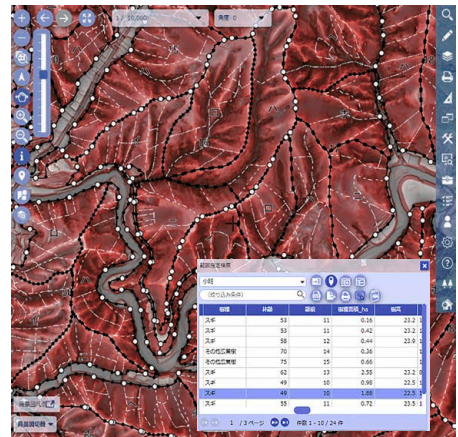
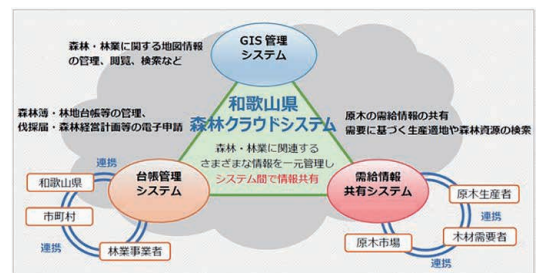


図3 和歌山県森林クラウドシステム構成図



3. 花粉発生源対策に向けた取組

国民の花粉症の有病率が約4割にのぼり社会問題と言われる中、本県の花粉症対策苗木生産の現状は、令和3年度実績をみると、苗木生産本数約76万本に対し4.9万本と、全体の約6%と低位な状況となっています。

本県では、将来的に県内で生産する全てのスギ・ヒノキ苗木を花粉症対策苗木に転換することを目指し、花粉症対策母樹園の整備計画を策定しました。

なお、本県では、苗木生産者へ花粉症対策苗木の増産を促進する観点から、種子採取のための母樹園造成及び管理を行っています。

本計画では、令和4年度～令和8年度に苗木の生産に必要な母樹園の改良や整備を行い生産体制を強化し、令和8年度には苗木の生産量を90万本に増産することに加え、花粉症対策苗木の生産量を全体の約32%にあたる26.2万本まで引き上げる予定としています。

具体的な取り組みとしては、令和4年度に、

県林業試験場中辺路試験地内において、既存少花粉スギ露地型採種園を約0.2ha拡張、スギ特定母樹閉鎖型採種園を2棟造成しています。

また、令和5年度も、同じく中辺路試験地内において約0.5haのヒノキ特定母樹露地型採種園を造成しているところであり、令和6年度においても花粉症対策苗木の増産に資する母樹園整備を進める予定としています。

国においては、発生源対策として10年後にスギ人工林を約2割削減することを目指しており、苗木の不足も予想されることから、今後、本県においても、花粉症対策苗木の更なる増産も視野に入れ、花粉発生源対策の加速化に取り組んでまいります。



スギ特定母樹閉鎖型採種園